

モスクワ宣言と
モスクワ声明の
基礎の上に
団結しよう

1963.1.27

外文出版社
北京

目次

- モスクワ宣言とモスクワ声明の基礎の上に団結しよう……………三
- （一九六三年一月二十七日付『人民日報』社説）
- ドイツ社会主義統一党第六回大会における中国共産党代表団長伍修権の挨拶……………二六
- （一九六三年一月十八日）
- ドイツ社会主義統一党第六回大会への中国共産党中央委員会の祝電……………四三

モスクワ宣言とモスクワ声明の

基礎の上に団結しよう

(一九六三年一月二十七日付『人民日報』社説)

ドイツ社会主義統一党は、一月十五日から二十一日にかけて、第六回大会をひらいた。

いま、帝国主義、各国の反動派およびユーゴスラビアの修正主義は、あらゆる手をつくして全世界人民の団結を破壊し、とくに社会主義陣営の団結と国際共産主義運動の団結を破壊し、世界平和、民族解放、民主主義、社会主義をめざす各国人民のたたかいが勝利のうちに発展するのを阻止しようとしている。各国の共産主義者と全世界の進歩的な人びとは、国際共産主義の隊列の団結が日ましに重大な損害をこうむっていることに深い憂慮と不安を感じており、モスクワ宣言とモスクワ声明を基礎として意見の相違をとりぞぎ、団結をつよめ、共同して敵にあたることを切実に要求している。

われわれはもともと、こうした状況のもとにひらかれるドイツ社会主義統一党の大会がモスクワ宣言とモスクワ声明にしたがつて、社会主義陣営の団結と国際共産主義運動の団結に貢献する

ことをのぞんでいた。ドイツ民主共和国は、社会主義陣営の西方の前線に位置し、アメリカ帝国主義を後盾とする西ドイツ軍国主義の脅威に直面しているのであるから、闘争のほこ先をわれわれの共同の敵にむけるのが当然であつて、味方を痛心させ、敵に快哉をさげばせるようなできごとを再演する理由はまったくない。

不幸なのは、このたびの大会で、われわれの願いと正反対の事態があらわれたことである。

ドイツ社会主義統一党のこのたびの大会のいちじるしい特徴は、一方では兄弟党相互間で攻撃をやめ、団結をつよめることをすくなくらず口にしておきながら、いま一方では中国共産党その他の兄弟党に無法きわまる攻撃をつづけ、いつそ意見の相違を大きくし、団結をそこなつたことである。一方ではモスクワ宣言とモスクワ声明の擁護をすくなくらず口にしておきながら、いま一方ではだれはばかるところなくマルクス・レーニン主義の叛徒チトー一味の名誉回復をおこない、公然とモスクワ宣言とモスクワ声明を踏みにじつたことである。

まねきにしたえてこの大会に出席した中国共産党代表団の団長がそのあいさつのなかでユーゴスラビア修正主義にたいするモスクワ声明の批判を引用し、これを闡明したさい、大会の司会者は中国共産党代表団団長があいさつをつづけるのを一再ならずおしとどめた。こうした演出のもとで、会場には叫び声と口笛、地だんだをふむ足音がわつとわきあがつた。まことに国際共産主

義運動で何びとも信じかねる奇怪な現象である。中国共産党代表があいさつをのべたあと、大会の司会者はこともあろうに抗議を提出した。かれは、ユーゴスラビアの修正主義にたいする中国共産党代表の批判を「もつとも断固と拒否する」意志を表明するとともに、これは「各共産党と革命的労働者政党のあいだのすべての普遍的な準則にそむく」ものであるとみなした。つづいて、ソ連の『イズベスチヤ』紙は、ユーゴスラビアの修正主義にたいする中国共産党代表の批判を攻撃して、これは「まったくがまんものならぬものである」とのべた。

ドイツ社会主義統一党のこのたびの大会は、全世界の共産主義者のまえにつぎのような重大な問題を提起している。国際共産主義運動の隊列はとどのつまり団結する必要があるのか、ないのか。とどのつまり、必要なのは真の団結なのか、みせかけの団結なのか？ とどのつまり、必要なのはどのような基礎にたつ団結なのか、モスクワ宣言とモスクワ声明を基礎とする団結なのか、それともユーゴスラビアの修正主義的綱領を基礎とする「団結」、もしくは他のなんらかのものを基礎とする「団結」なのか？ いいかえれば、とどのつまり必要なのは意見の相違をなくして団結をつよめることなのか、それとも意見の相違を大きくして分裂をうみ出すことなのか？ とういう問題である。

中国の共産主義者がすべてのマルクス・レーニン主義者、全世界の進歩的な人びととともに一

マルクス
レーニン主義者

致してのぞんでいることは、団結をまもり、分裂に反対すること、真の団結をもとめ、みせかけの団結に反対すること、国際共産主義運動の団結の共同の基礎をまもり、この基礎の破壊に反対すること、モスクワ宣言とモスクワ声明の基礎のうえに立つて社会主義陣営の団結をまもり、つよめ、国際共産主義運動の団結をまもり、つよめることである。

ゆらい、中国共産党はつぎのように考えている、社会主義陣営の団結と国際共産主義運動の団結は各国人民の革命を勝利させる確実な保証であり、帝国主義とその手先どもに反対するたかきを勝利させる確実な保証であり、世界平和、民族解放、民主主義、社会主義をめざす事業を勝利させる確実な保証であり、共産主義が全世界にわたって勝利をおさめる確実な保証である。こうした団結の基礎はマルクス・レーニン主義とプロレタリア国際主義であり、一九五七年のモスクワ宣言と一九六〇年のモスクワ声明である。きわめて大きな歴史的意義をもつこの二つの文書は、各国の共産党、労働者党が一致してとりきめたものであり、国際共産主義運動の共同綱領である。この二つの文書をきびしく守ることは、この二つの文書は、団結をつよめることができ、真の団結ができる。この二つの文書にそむくなら、団結をそこなうだけであり、みせかけの団結になるだけである。モスクワ宣言、モスクワ声明の革命原則と兄弟党、兄弟国の関係についての共同の準則を断固まもり、モスクワ宣言とモスクワ声明にそむく言論と行動にたいして妥協なきたたかひをすすめること、これこそ各国共産主義者の神聖な責務にはかならない。

まじりのおぼろ

おぼろ

かいをすすめること、これこそ各国共産主義者の神聖な責務にはかならない。

中国共産党は、貫して、社会主義陣営の団結と国際共産主義運動の団結をまもり、これをつよめるために努力している。一九五六年、帝国主義、各国の反動派、ユーゴスラビアの修正主義は、全世界で反ソ、反共のキャンペーンをおこすとともに、ハンガリーで策動して反革命的な暴動をおこさせた。中国共産党は他の兄弟党とともに、断固たる闘争をすすめて、マルクス・レーニン主義をまもり、社会主義陣営をまもり、一九五七年と一九六〇年のモスクワ会議では、中国共産党は他の兄弟党と力をあわせ、十分な話しあいを経て国際共産主義運動の共同の路線をさだめ、兄弟党、兄弟国の相互関係についての共同の準則を確立した。この二回にわたる会議で、われわれは、正しくない、団結に不利なある傾向にたいして必要な闘争をおこなうとともに、ある問題については必要な妥協をおこない、会議が一致した取り決めをおこなううえにそれなりの貢献をしたのであった。

はやくも一九六一年、ソ連共産党第二十二回大会の席上、ひとつの党の大会で他の兄弟党であるアルバニア労働党を公然と名ざしに攻撃するという重大なできごとがはじめておこしたとき

中国共産党代表団はただちに断固たる反対を表明し、誠意ある勧告をおこなった。当時、われわれは指摘したものである。こうしたやり方は一団結を役だたず、問題の解決に役だたない。兄弟

張海一

おぼろ

党、兄弟国相互間のあらそいを公然と敵の目のまえにさらけ出すのは、マルクス・レーニン主義の慎重な態度と考えられない。こうした態度は味方を痛心させ、敵に快哉をさげばせるだけでである。中国共産党は、あらそいと意見の相違をもつ兄弟党がマルクス・レーニン主義の基礎の上に立ち、たがいに独立と平等を尊重する基礎のうえに立つて、あらたに團結することをこのころから希望する」と。残念なことは、われわれのこうした努力もソ連・アルバニア関係のさらに悪化するのを阻止しえなかつたことである。われわれの好意は、いちぶのものから一連の非難をあびる結果となつた。

一九六二年四月、中国共産党は、兄弟党、兄弟国の相互關係についての準則をまもり團結をつよめるという願ひにもとづいて、いちぶの兄弟党から出された關係緩和とふんい気改善に関する提案を積極的に支持するとともに、關係のある兄弟党に書簡をおくり、同志的な討論と話しあいをつうじて、意見の相違をなくし團結をつよめるため、各国の共産党・労働者党の代表者會議をひらくという主張を正式に提起した。われわれはまた、この會議がひらかれるまえ、各兄弟党が多くの準備をととのえ、ラジオ、新聞、雑誌で他の兄弟党にたいする攻撃をやめることをふくめて、上述の會議の開催と成功のために有利な条件をつくりだすべきである、と指摘した。われわれがひじょうに心をいためているのは、中国共産党と他の一部の兄弟党がおこなつた

兄弟国のあらそい
兄弟国のあらそい

こうした積極的な提案が關係のある兄弟党からしかるべき反応をえられなかつたことである。逆に、兄弟党、兄弟国の相互關係についての準則にそむくあつたやり方、とくにひとつの党の大会で他の兄弟党を公然と名指して攻撃する悪どいやり方は、いよいよよはげしくなつた。最近の一時期にひらかれたいくつかの兄弟党の大会ではすべて、ひきつづきアルバニア労働党にたいする攻撃、中国共産党にたいする攻撃がおこなわれ、ある党の大会ではさらに朝鮮労働党にたいする攻撃もおこなわれた。

モスクワ宣言とモスクワ声明にそむき、國際共産主義運動の團結を破壊するこうした逆流は、ドイツ社会主義統一党第六回大会で、あらたな高潮になつた。このたびの大会では、ユーゴスラビアの修正主義一味が多方面にわたつてかばわれたのたいたし、モスクワ声明にもとづいてユーゴスラビアの修正主義を批判した兄弟党の代表はまったく非同志的な無礼な態度でむかえられた。こうしたやり方はきわめて俗悪であつて、なんの役にも立たないものである。

の目から見れば、兄弟党が一致してとりきめたモスクワ声明の原則を堅持することは許しえず、不法なことであり、逆に、モスクワ声明で糾弾されたユーゴスラビアの修正主義は歓迎されるべく、適法なものであるという。かれらは、一方ではマルクス・レーニン主義を堅持する同志を大いに攻撃しながら、いま一方では骨のずいまでの修正主義者との團結をさかんにまくしたててい

兄弟党のあらそい
兄弟党のあらそい

兄弟党のあらそい
兄弟党のあらそい

る。かれらは、一方ではユーゴスラビアの修正主義に反対する兄弟党の代表からあらゆる手をつくして発言の機会をうばいながら、いま一方ではマルクス・レーニン主義にそむくものに拍手喝采をおくっている。こうしたまことに悪とい事態はねりにねつた計画のもとにおこなわれたものであり、したがって、その重大性はいよいよゆゆしいのである。

ここで、われわれはおごそかに指摘しないわけにはゆかない——国際共産主義運動はいまや重大な時機に直面している。各国共産党、労働者党の団結の共同の基礎であるモスクワ宣言とモスクワ声明はいまや公然と踏みじられる重大な危険に直面している。社会主義陣営の団結と国際共産主義運動の団結はいまや重大な脅威にさらされている、と。

当三面の国際共産主義運動のなかで、ユーゴスラビアの修正主義にいかに対処するかという問題は、ちいさな問題ではなくて、大きな問題であり、局部的な問題ではなくて、全局にかかわる問題である。この問題は、マルクス・レーニン主義を堅持するのか、それともユーゴスラビアの修正主義と野合するのかという問題にかかわってくる。この問題は、モスクワ宣言とモスクワ声明を団結の基礎とするのか、それともユーゴスラビアの修正主義的綱領または他のなんらかのものを「団結」の基礎とするのかという問題にかかわってくる。この問題は、真に団結をつよめるのか、それとも口先だけで団結を云々し、実際には分裂をつくり出すのかという問題にかかわってくる。

要するに、この問題はとどのつまり、モスクワ宣言とモスクワ声明をきびしくまもるのか、それともモスクワ宣言とモスクワ声明をホゴにするのかという問題にかかわってくるのである。

一九六〇年のモスクワ声明ははっきりと言っている。「各共産党は、現代修正主義者の『理論』の集中的なあらわれである国際日和見主義のユーゴ的変種を一致して非難した。マルクス・レーニン主義を裏切り、それを時代おくれのものといっているユーゴスラビア共産主義者同盟の幹部たちは、一九五七年の宣言に反レーニン主義的な修正主義的綱領をもって対抗した。かれらは、ユーゴスラビア共産主義者同盟を国際共産主義運動全体に対抗させ、自国を社会主義陣営から切り離してアメリカその他の帝国主義者のいわゆる『援助』に依存させ、それによってユーゴスラビア人民の英雄的な闘争でえられた革命的成果を失う危険をつくり出した。ユーゴスラビアの修正主義者は、社会主義陣営と世界共産主義運動にたいし破壊工作をおこなっている。かれらはブロック不参加政策という口実にかくれて、すべての平和を愛する勢力と諸国家の団結を破る活動をくりひろげている。ユーゴスラビア修正主義者の指導者を今後とも暴露し、共産主義運動と労働運動をユーゴスラビア修正主義者の反レーニン主義的思想の影響から守るために積極的にたたかうことは、依然として各国のマルクス・レーニン主義政党の必要な課題であ

る」と。

ユーゴスラビアの修正主義にたいする中国共産党の立場は、モスクワ声明に規定されているとおり、あらゆるマルクス・レーニン主義政党が当然とるべき立場であり、どうしてもとらなければならぬ立場である。この立場はユーゴスラビア修正主義者の立場と根本的に対立するものである。ユーゴスラビアの修正主義者はモスクワ宣言に根本的に反対しており、モスクワ声明にも根本的に反対しており、自己の修正主義的綱領を各国の共産党、労働者党の共同綱領に対抗させている。ユーゴスラビア共産主義者同盟の綱領のなかで、チトー一味は社会主義陣営と帝國主義陣営の根本的な対立を否定し、いわゆる「超ブロック」的立場をとると主張している。かれらは、プロレタリア革命とプロレタリアート独裁の学説を否定し、資本主義国は社会主義に「平和的に成長する」ことができる」とみなしている。かれらは、社会主義国の全人民的所有制を「国家資本主義」といい、マルクス・レーニン主義はすでに「時代おくれ」になったとみなしている。こうしたことはすべて、モスクワ宣言、モスクワ声明のマルクス・レーニン主義的論点とは油と水のようにあいられないものである。

一九五七年のモスクワ会議のあと、一九五七年十二月に、ユーゴスラビア共産主義者同盟中央委員会第九回総会の公報はつぎのようにのべている。「総会は、代表団がユーゴスラビア共産主

水と油

義者同盟中央委員会の政治路線をつらぬいて、一二の社会主義国の共産党、労働者党の会議に出

席せず、この会議の宣言に署名しなかったことを正しいとみとめる。なぜなら、この宣言にはユ

ーゴスラビア共産主義者同盟の観点と矛盾し、かつまた、ユーゴスラビア共産主義者同盟が正し

くないとみなす若干の観点と見通しがふくまれてあるからである」と。

モスクワ声明ともなると、チトー一味の攻撃はいちだんとはげしい。ほかでもない、ドイツ社
 会主義統一党のこのたびの大会でいちぶのものから熱狂的な歓迎をうけた例のチトー一味の代表
 ヴラホビッチは、一九六一年二月のユーゴスラビア共産主義者同盟中央執行委員会拡大会議でつ
 ぎのようにのべている。「モスクワ会議は、さまざまな観点と傾向のあいだで妥協をはかるとい
 う路線をあゆみ、『千篇一律、紋切り型、型にはまった闘争戦術の設定』という路線をあゆん

だ。こうして、統一的な声明のなかに、世界の現代社会における客観的発展を反映した立場と
 観点が教条主義的——官僚主義的の見解（そのもつともいちじるしい例は社会主義のユーゴスラビ
 アにたいする立場である）とまじりあっている」と。ユーゴスラビア共産主義者同盟中央委員会
 が一九六一年二月の会議でモスクワ声明について採択した決議のなかには、「モスクワ声明は
 社会主義の事業のみならず、世界平和を強固にする努力にたいしても有害な結果をまねくだけ
 であろう」とのべている。

ユーゴスラビアの修正主義にたいして批判すべきであるかどうか？ これは国際共産主義の隊列のなかでもともと問題とならないはずである。ユーゴスラビアの修正主義に断固反対する中国共産党の原則的立場は、これまた、他の兄弟党の賛同をえている。「一九五八年六月、フルシチヨフ同志はブルガリア共産党第七回大会における演説で、「中国の同志は他の兄弟党とおなじく、ユーゴスラビア共産主義者同盟綱領草案の修正主義的原則にたいしてまったく正しい、ひじょうにつつこんだ批判をくわえている」とのべた。このことは人びとがよくおぼえていることである。

ほかならぬドイツ社会主義統一党の前の大会、つまり一九五八年七月にひらかれた第五回大会でも、ユーゴスラビアの修正主義を批判すべきか、すべきでないかという問題については、各国の共産党、労働者党のあいだに意見の相違がなかった。このことをも人びとがよくおぼえていることである。フルシチヨフ同志は当時つぎのようにのべたものであった。「ユーゴスラビアの活動家の反マルクス主義的、反レーニン主義的な観点は、中国共産党、ドイツ社会主義統一党、その他すべての兄弟党からつつこんだ原則的批判をうけた。各党は、指導機関の決議や党機関紙の文章のなかで、こうした観点を非難する明確な立場をとり、こうした観点に批判的な分析をくわえることにじゅうぶん注意をはらった。これはひじょうに正しい」と。

かれはまたつぎのようにのべた。「ユーゴスラビアの活動家は口先では自分をマルクス・レーニン主義者だといっているが、実際にはマルクス・レーニン主義の衣をまとって、信じやすい人びとをまどわし、これらの人びとをマルクスとレーニンの指摘した革命的な階級闘争の道からひき離すものでしかない。かれらがそうするのは、労働者階級の手からもつとも鋭い階級の武器をうばい取るためである。かれらがのぞむとのぞまないにかかわらず、かれらは勤労人民の階級敵を助け、その代償として借款をうけているのだ。だからこそ、帝国主義者はかれらの『独立的な、超ブロック』政策なるものをほめそやしており、反動勢力はこの政策を利用してわれわれの社会主義陣営を破壊しようとしているのである」と。

かれはまたつぎのようにのべた。「ユーゴスラビアの指導者は、かれらの言論と正式の文書のなかで、マルクス・レーニン主義の革命の実質にそむく修正主義的観点をむき出しにうちだしている。かれらは分裂的な修正主義の路線を公然と採用して、労働者階級の敵が共産主義に反対するのをたすけ、帝国主義が共産党に反対し、国際革命労働運動の団結に反対するのをたすけている」と。

かれはまたつぎのようにのべた。「ユーゴスラビアの指導グループの綱領は、実際には右翼社会民主主義者の多くの修正主義的綱領の拙劣な焼き直しにすぎない。したがって、ユーゴスラビ

アの指導者は革命的なマルクス・レーニン主義学説の道をたどっているのではなく、第二インタナショナルの修正主義者であり日和見主義者であるベルンシュタイン、カウツキーその他の叛徒がかりひらいた道をたどっているのである。いま、かれらは実際にはカール・カウツキーの後裔——かれのむすこのベネディクトと合流しているのである」と。

われわれには理解できない。ある同志たちはかつてユーゴスラビア修正主義の批判に正しい立場をとっていたのが、なにゆえいま百八十度の大転換をするようになったのであるか？

ある人はいう、これは「ユーゴスラビアの指導者が誤りと考えられるものの多くを取りのぞいた」からである、と。残念ながら、チトー一味じしんはこれまで一度もかれらに誤りがあることをみとめたことがなく、その誤りを取りのぞいたなどとはなおさらいえない。チトー一味が誤りを「取りのぞいた」などということをいいはるのなら、それこそ真正正銘の主観主義である。われわれはチトー一味を弁護する人たちに聞いてもらいたいと思う、チトー一味じしんは一体なんといっているか！

はやくも一九五八年四月、チトーはユーゴスラビア共産主義者同盟第七回大会でいった、「もしもなんらかの面でわれわれが国際問題と内部問題におけるわれわれの原則的な立場を放棄するというようなことをだれかが期待するとすれば、それは時間を浪費するだけのことである」と。

一九五九年、チトー一味のいまひとりの指導者カルデリは、その筆になるあるパンフレットのなかでいつそう露骨にのべている。「いま、見うけるところ、批評家たちがたえずわれわれに提案してきたものは、かれらが放棄しはじめたものにほかならないようだ。逆に、われわれについて批判しているものこそ、かれらが受けいれはじめているもののものである」と。

つい最近では、一九六二年十二月、ソ連からベオグラードに帰りついたチトーは、下車するやいなや、「ユーゴスラビアが現在その政策をどう改めるかということについて討論するのは、まったく余計なバカげたことである。われわれは自己の政策を改める必要などはない」とのべた。それから数日後、チトーはまたしても、「われわれはあちらで（ソ連をさす）、ユーゴスラビアはその対外政策を改めえないということも語ってきた」とのべている。

チトーとカルデリのことばは、チトー一味がその修正主義的路線と政策にいかなる変更のあることも断固否定していることをしめすものである。じじつ、かれらはいかなる変更もくわえていない。チトー一味が「誤りと考えられるものの多くを取りのぞいた」などと故意に言おうとするものこそ、うそをつくのてなくて何であらうか？

さいきん、ある人びとは、自分たちとチトー一味のあいだで多くの問題についての観点が一致し、それがますます接近しつつあるときかんにのべたてている。われわれはたずねたい、チトー

一味の修正主義的路線と政策はならぬ改められていないのだから、そうしたことを口にするものじしんチトー一味の修正主義的路線と政策にますます接近しつつあるということになるのではないか？

とりわけ驚かされるのは、ある人びとがモスクワ宣言とモスクワ声明を「紋切り型」だとおおつぱらに揚言していることである。かれらは、いかなる兄弟党にもユーゴスラビアの修正主義を暴露し糾弾することを許さず、もしもユーゴスラビアの修正主義を断固糾弾するものがあれば、それは「資本主義世界の野獣の法律を適用する」ものであり、「野獣の道徳に固執する」ものであるという。われわれはたずねたい。八一の兄弟党が一致して取り決めたモスクワ声明を「紋切り型」だとか、「資本主義世界の野獣の法律」だとかというそのねらいは一体どこにあるのか？モスクワ宣言とモスクワ声明をホゴにするつもりなのか？モスクワ声明にもついでユーゴスラビア修正主義を糾弾することが「野獣の道徳」であるのなら、モスクワ宣言とモスクワ声明にそむいて、ある兄弟党または兄弟国を「咬みころし」てしまおうとさえしているのは一体どんな道徳といえよいのであるか？

われわれはまたトリアッチ同志がつぎのようなことまで言ったのも耳にしている。「われわれと他のいちぶの人びとがユーゴスラビアの同志たちにたいしてとっている立場は正しい。したが

って、一九六〇年の決議（これは八一の兄弟党が一致して取り決めたモスクワ声明をさす——注）を是正した。なぜなら、決議はこの点で正しくなかつたからである」と。われわれはたずねたい。各国の兄弟党が一致して取り決めたモスクワ声明にたいし、トリアッチ同志は一体そのあれこれの部分で正しくないと宣言するどのような権利があるのか？一体、このおごそかな国際的な取り決めに勝手に「是正」したり、勝手に「是正」したりの党が各国の共産党、労働者党の一致してきたものであるのか？もしもひとつの党またはいくつかの党が各国の共産党、労働者党の一致してきた取り決めに勝手に「是正」することができるとすれば、そのほかにもにまもるべき原則などというものがはたしてあるだろうか？

いちぶのものが国際共産主義運動の一致して採択したおごそかな文書にたいして、かくも侮蔑した態度をとり、みずから署名した文書をみずから守らず、さらには、これを守るものはずかじめ、ののしるということ、これはまったく信義にそむくものであることきわめて明らかである。

ここでわれわれはつよく指摘したい。チトー一味の名誉回復に熱をあげている連中は、ユーゴスラビア問題を突破口とし、さらにすすんでモスクワ宣言とモスクワ声明をすっかりホゴにしようとならつているのである。もしもかれらのこうしたねらいどおりになるなら、ここ数年ら

い、各国の共産党と労働者党がユーゴスラビアの修正主義にたいしてくわえた批判はすべて誤りであり、逆にチトー一味は正しかったということになる。モスクワ宣言とモスクワ声明は誤りであり、逆にユーゴスラビアの修正主義的綱領は正しかったということになる。マルクス・レーニン主義の基本原理はすでに時代おくれであつて、現代修正主義にはもはや反対してはならず、ましてやこれを国際共産主義運動の主な危険などとはなおさらいえないということになる。また、人びとはみなチトー一味の尻にくつついてゆくべきであり、「カール・カウツキーの後裔——これのむすこベネディクトと合流している」ということになるのである。

もしもそういうことになれば、国際共産主義運動の戦略と戦術をすっかり改めねばならず、修正主義の投降路線をマルクス・レーニン主義の革命路線にとつてかわらせねばならないことになる。もしもそういうことになれば、各国の共産党、労働者党になおどのような団結の共同の基礎があるだろうか？ これは故意に国際共産主義運動の分裂を策することではないだろうか？

いま、各国の共産党、労働者党のまゝに提起されている切実な課題は、モスクワ宣言とモスクワ声明をまもること、モスクワ宣言とモスクワ声明を基礎とする社会主義陣営の団結と国際共産主義運動の団結をまもり、これをつよめることである。われわれはモスクワ宣言とモスクワ声明を基礎とする団結を断固まもり、ユーゴスラビアの修正主義的綱領または他のなんらかのものを

基礎とする「団結」に断固反対する。わが中国共産党は、すべての兄弟党とともに、このためうまずたゆまず努力するであらう。

プロレタリアートの事業はゆらい国際的なものである。各国の共産主義者はこの共同の事業の勝利をかちとるため、連合して共同の闘争をすすめねばならぬ。プロレタリア国際主義の連合と団結なしには、どの国の革命事業も勝利をおさめることができず、勝利をうちかためることができない。

こうした団結をまもり、つよめる唯一の正しい道は、モスクワ宣言とモスクワ声明に規定された兄弟党、兄弟国の関係についての準則をまもる以外にない。

モスクワ宣言とモスクワ声明に規定されている兄弟党、兄弟国の関係についての準則は、マルクス・レーニン主義とプロレタリア国際主義の基礎のうゑに立つて、連合の原則、たがいに支持し、援助しあう原則、独立自主と平等の原則、話しあいによつて見解を一致させる原則を貫徹することである。

兄弟党、兄弟国の関係についての準則をまじめに守るかどうかは、めいめいの共産主義者が国際共産主義運動の団結を真にまもるかどうかをためす主な標識である。

モスクワ宣言とモスクワ声明という各国の共産党、労働者党が一致して取り決めたこの二つの

国際的文書は、どの兄弟党にたいしても拘束力がある。各国の共産党、労働者党は、これをまもる義務があるだけであつて、これを破壊する権利は絶対にない。ひとつの党にせよ、いくつかの党にせよ、これを改める権利はまったくないし、その無効を宣言する権利もまったくない。国際共産主義運動では、いかなる兄弟党にせよ、その地位がいかに重要で、その役割がいかに大きくても、またその決議が正しくてもまちがつていても、この党の決議はただ自党にたいして拘束力をもちうるだけである。モスクワ宣言とモスクワ声明の準則によると、ひとつの党の綱領、決議、方針、政策を他の兄弟党におしつけることは許されない。また、ひとつの党の指導者が今日はいかに、明日はこういう無責任な矛盾したいくつかのことを聖旨として、他の兄弟党にそれへの服従を強要することも許されない。ましてや、ひとつの党またはいくつかの党の意志にもとつて、あれこれの兄弟党を国際共産主義運動の隊列から勝ちまきまきにはじきたしたり、マルクス・レーニン主義の叛徒を勝ちまきまきにひきずりこんだりすることはなおさら許されない。

国際情勢はきわめて複雑で変化もはやいし、各兄弟党のおかれた状況にもはなはだしい相違があるのだから、各兄弟党のあいだにあれこれの問題で意見の相違が生じるのはさげがたいことである。問題は、兄弟党のあいだに意見の相違が生じたばあい、モスクワ宣言とモスクワ声明の兄弟党の關係についての準則にもとづき、内部での平等な話しあいをつうじて、意見の相違をなく

し、見解を一致させるべきであるということ、兄弟党のあいだの意見の相違は絶対に公然と敵のまえにさらけ出すべきでなく、また、新聞雑誌その他の宣伝用具を利用して公然と兄弟党を攻撃すべきでもない、ましてやひとつの党の大会を利用して他の兄弟党を公然と攻撃するようなことはなおさらすべきでないということにある。もしもきょうはこの兄弟党を公然と攻撃し、あすはまた他の兄弟党を公然と攻撃するというのであれば、国際共産主義運動の団結などということはどうして云々できるだろうか、これはきわめて明らかなことである。

一方では攻撃をやめようといひながら、いま一方では攻撃をつづけるということ、これは決して誠実な共産主義者をとるべき態度ではない、われわれはそう考える。ドイツ社会主義統一党のこのたびの大会に出席した朝鮮労働党代表団団長が指摘しているとおり、「兄弟党の国際会議などではないこの大会において、一方では意見の相違についての公開的な論争をやめ、団結をつよめるといふことを口にしながら、いま一方では兄弟党間の意見の相違についての問題を持ち出し、とくに中国共産党にたいする一方的な批判をおこなつたということ、これは友好的な同志的な態度とは見なしえないし、こうした態度はわれわれがこぞつて主張する一致団結に役だたない、われわれはそういうふうを考える」のである。

千言万句をついやして団結の空念仏となえるよりも、団結に有利なよいことをひとつつやる方

がましである。いまは断崖の縁で馬の手綱をひきしめるべきときである！ おくれても、やらな
 いよりはよい。最初に攻撃をはじめた兄弟党が言行の一致をしめし、イニシアチブをとって、内
 部での平等な話し合いの軌道にもどり、モスクワ宣言とモスクワ声明に規定された兄弟党、兄弟
 国の関係についての準則の軌道にもどることを、われわれはこれから期待してやまない。

中国共産党は、社会主義陣営の団結と国際共産主義運動の団結をまもり、つよめてゆくうえで
 自己のになうべき責任をふかく理解している。われわれは今後もこれまでどおり、この方面でそ
 れなりの貢献をするために全力をつくすであろう。各国共産党・労働者党の代表者会議をひらい
 て、みながおだやかに膝をまじえ、ぞんぶんに同志的な討議をつくして、たがいの見解を調整
 し、意見の相違を取りのぞき、あらたな基礎のうえに団結をつよめるということ、中国共産党は
 これまでもたびたびこのことを主張してきたし、いまもなおこれを主張する。われわれは、すべ
 ての兄弟党とともに、関係の緩和と団結の強化に有利なあらゆる措置をこうじて、ふんい気をも
 くし、兄弟党の会議を開催するために必要な条件をととのえたいと考えている。

いま、アメリカをかしらとする帝国主義とすべての反動派は気がいじみたあがきをつづけ
 て、時代の流れをせきとめ、逆流させ、抑圧されている民族と人民の解放を阻止し、社会主義陣
 営を破壊しようと妄想している。大敵を目のまえにして、われわれ共産主義者は、これまでのど

の時期よりもいつそうかたく団結し、いつそう断固たる態度で共同のたたかいをすすめるべきで
 ある。帝国主義と各国の反動派に反対する闘争に不利な言論や行動、世界各国人民の革命闘争に
 不利な言論や行動、共産主義者と全世界の革命的人民の団結に不利な言論や行動はすべて、全世
 界の共産主義者のあいだで通用せず、各国のプロレタリアートと勤労人民のあいだで通用せず、
 抑圧されているすべての民族と人民のあいだで通用せず、世界平和をまもるためにたたかうすべ
 ての人びとのあいだで通用しないのである。

社会主義陣営の団結と国際共産主義運動の団結は、われわれの力の源泉であり、全世界の抑圧
 されている民族と人民の希望である。われわれが団結すればするほど、全世界人民はいよいよ喜
 び、ますますはげまされる。われわれは団結すればするほど、革命的なすべての人民の勝利への
 確信をいよいよ強めることができ、帝国主義と各国反動派にますます強力な打撃をくわえること
 ができる。

われわれは全世界人民の期待にそむくべきではない。われわれはかならず団結を堅持し、分裂
 に反対しなければならぬ。われわれはかならず真の団結をもとめ、見せかけの団結に反対しな
 ければならない。われわれは、マルクス・レーニン主義とプロレタリア国際主義を基礎とし、モ
 スクワ宣言とモスクワ声明を基礎として団結しようではないか！

ドイツ社会主義統一党第六回大会における

中国共産党代表団長伍修権の挨拶

(一九六三年一月十八日)

親愛なる同志のみなさん

わたしたち中国共産党代表団は、中国共産党中央委員会の委託をうけ、中国共産党と中国人民を代表して、ドイツ社会主義統一党第六回大会に、また、大会をつうじてドイツ社会主義統一党とドイツ民主共和国人民に、熱烈なる兄弟としての挨拶をおくりまします。

ドイツ民主共和国の人民は、ドイツ社会主義統一党の指導のもとに、社会主義建設の事業のなかできわめて大きな成果をおさめました。工業と農業の生産水準も、人民の物質面、文化面の生活水準も、めざましい向上をいたしました。あなた方の建設の成果は、われわれの社会主義と共産主義の共同の事業にたいするきわめて大きな貢献です。中国人民はこれにたいし大きなよろこびを感じています。わたしたちは、あなた方が社会主義建設のなかであらたないつそう大きな成果をおさめられるよう望んでやみません。

中国人民は、兄弟としてのドイツ民主共和国人民が社会主義陣営の西方の前線にあり、アメリカの育成のもとにある西ドイツ軍国主義の反動勢力となみなならぬ闘争をすすめていることをよく知っています。アメリカ帝国主義はドイツ問題で自己の侵略目標を追求し、西ドイツをあらたな戦争の温床にしています。アメリカ帝国主義は対独平和条約の締結をはばんで、あくまで西ベルリンの占領状態をつづけ、西ドイツと西ベルリンからたえず社会主義陣営にたいするさまざまな挑発や転覆活動をすすめています。西ドイツ軍国主義の反動勢力はアメリカ帝国主義と結託し、北大西洋侵略ブロックの支柱として犯罪的な活動をすすめ、ドイツ民主共和国と社会主義陣営ぜんたいの安全をおびやかす、ひいてはヨーロッパと全世界の平和をおびやかしています。アメリカ帝国主義と西ドイツ反動勢力のすすめている侵略政策と戦争政策に反対する闘争、また対独平和条約の締結と西ベルリン問題の解決をめざす闘争は、ドイツ人民の利益に合致するばかりでなく、ヨーロッパと全世界の平和の利益にも合致しています。このたまたかいで、中国人民は永遠にあなた方がわに立つでしょう。

当面の国際情勢は、各国人民に有利で帝国主義に不利な方向へとひきつづき発展しています。社会主義陣営の力は日まじに強大になっています。民族民主革命運動はアジア、アフリカ、ラテ

ン・アメリカを席卷し、多くの被抑圧民族が帝国主義と植民地主義にうかつ輝かしい勝利をおさめました。資本主義世界の勤労人民も階級的な格闘のなかで日ましに団結し、独占資本の抑圧と奴隷化に反対し、民主主義と社会進歩をめざすたたかいをつよめています。全世界の各国人民が帝国主義の侵略政策と戦争政策に反対し、世界平和をまもるためにおしすすめている運動は、いまやはば広く深く発展しつつあります。世界人民は平和、民主主義、民族解放、社会主義をかちとる事業にたいし確信にみちあふれています。

帝国主義は歴史的に死滅を運命づけられた腐朽した力です。帝国主義にとって世の中はいよいよ暮らしくなくなっています。帝国主義に固有のさまざまな矛盾は日ましに尖鋭化しつつあります。帝国主義陣営は、市場の争奪、勢力範囲の争奪、核兵器にたいする支配権の争奪によつていよいよ四分五裂の状態をふかめています。資本主義世界の没落と崩壊の過程はいまやはやめられつつあります。けれども、帝国主義がみずからすすんで歴史の舞台からひきさがらうようなことはありませんし、その本性もこれまでたげつて変わるものではありません。帝国主義は、そのおかれてある立場が不利になればなるほど、各国人民への攻撃をつよめるものです。したがって、世界の人民は帝国主義にたいしつねに最大の警戒心をもたなければならず、帝国主義にたいする闘争を一刻もゆるめることはできないのです。

ケネディはほしいままに平和を口にしてはいませんが、実際にはいつそうずるがしこい、冒險的な反革命的世界戦略をすすめています。アメリカ独占ブルジョア階級のこの頭目にたいしては、実際にそぐわないういかなる幻想もいたてはなりません。ケネディ政府は、いま反革命の二面政策をとり、平和の看板にかくれて、どしどし侵略政策と戦争政策をおしすすめています。ケネディ政府はまた、いつそう気がいじみて力の政策と核恐喝の政策をとり、軍備拡張と戦争準備に拍車をかけ、核戦争を準備するとともに、通常兵器の戦争を準備し、またいわゆる「特殊戦争」をおこなっています。ケネディ政府は狡猾にもさまざまな陰謀をもてあそび、民族民主運動の絶滅——各国人民革命運動の弾圧と、社会主義の崩壊を夢んでいます。アメリカ帝国主義は全世界の反動勢力の中心であり、全世界人民のもつとも凶悪な敵であり、世界平和のもつとも凶悪な敵であります。全世界のますます多くの人がこのことを見てとっています。

さきごろのキューバの情勢は、全世界の革命的な人民にひじょうにゆたかな生きた教訓をあたえました。キューバの情勢が証明しているとおり、帝国主義に反対する闘争のなかで決定的な要因は人です。まさしく英雄的なキューバ人民がせんぶ立ちあがって、その革命的指導者フイデル・カストロ同志のまわりに団結し、キューバの独立と主権を保障する五項目の正義的要求を堅持し、アメリカ帝国主義にたいするだんこ不屈の闘争をすすめたからこそ、またラテン・ア

アメリカ人民と世界人民の同情と支持のもとで、キューバの独立、主権と革命の成果をまもる偉大な勝利をおさめたからこそ、世界の平和をまもる事業に偉大な貢献をしたのであります。

アメリカ帝国主義は弱いものをいじめ、強いものを恐れます。アメリカ帝国主義がもつとも恐れるのは団結した革命的人民の力であります。あくまで人民大衆の力を信じ、あくまで人民大衆の闘争にたよりさえすれば、また、こんにちの偉大な諸勢力——社会主義の勢力、民族民主革命の勢力、労働者階級の勢力、そしてまたすべての平和愛好勢力が連合して、アメリカをかじらとする帝国主義とその手先に反対する広はんな統一戦線を結成しさえすれば、さらにまた、正しい政策をとつて、敵にたいする断固としたためみない闘争をすすめさえすれば、帝国主義による世界戦争の勃発を防止し、世界の平和をまもることがかならずできます。これこそ世界平和をまもる唯一の正しい道です。

中国共産党と中国政府は、社会制度をことにする国々の平和共存を一貫して主張しています。中国は有名な平和共存の五原則を提唱した国です。中国は、平和共存の五原則を基礎として、世界の多くの国々と友好関係をうちたてるとともに、あい前後してイエメン、ビルマ、ネパール、アフガニスタン、ギニア、カンボジア、インドネシア、ガーナと友好条約または友好・相互不可侵条約をむすび、ビルマ、ネパールなどの国々と境界問題を円満に解決しました。これらの

事実、だれの目にもきわめてあきらかなことです。中印境界問題については、中国は一貫して平和的な話しあいによる公平かつ合理的な解決をもとめています。ところが、インドのネール政府は、話しあいを全面的に拒絶し、武力によつて中印境界の状況をあらためようとはかり、ともなく中国境界の領土を侵略占領して、ついには公然と中国にたいする攻撃を命令し、中国の

境界守備隊を中国の領土から「一掃」しようとしてきました。中国はインド軍の大規模な攻撃に直面して自衛の反撃をおこないましたが、これはおよそ主権国であるかぎり最低限の正当な措置であります。中国はインド軍の攻撃に反撃をくわえたのち、ただちに衝突の停止、接触状態からの脱離、会談の再開を提案するとともに、みずからすすんで停戦し、みずからすすんで後退しました。こうしたからこそ、中印境界の情勢はやわらいできたのであります。わたしたちがたびたびのべているように、ネール政府が反中国の態度をとりつづけているのは、その対内対外政策がますます反動化してきた結果であり、この政府がますます帝国主義に身を売り、いよいよ残酷に国内人民を弾圧している結果であります。ネール政府の反中国的態度、ネール政府のますます反動化してきた対内対外政策は、帝国主義とくにアメリカ帝国主義の支持と激励をうけています。残念なことは、このネール政府がまたマルクス・レーニン主義者と自称するいぢぶのものの支持と激励をもうけているということです。これらの人びとは中印境界問題について、終始、事実をか

えりみず、理非曲直を転倒させてきました。彼らは、社会主義中国のわがこの三年あまりのあいだに公表した多くの関係文書にたいしても、中国がわから彼らにたいしておこなったいくたひもの通知と説明にたいしても、見て見ぬふりをしています。彼らは実際にはネールといつしよに反中国の大合唱にくわわっているのです。この奇怪しごくな立場は、マルクス・レーニン主義、プロレタリア国際主義とはなんらの共通点もないものです。

労働者階級の叛徒であるユーゴスラビアのチトー一味を代表とする現代修正主義者は、帝國主義の圧力に屈して、あまんじて帝國主義のため犬馬の勞をとり、労働者階級の國際的團結を破壊するうえで社会民主黨のはたしえない役割をはたしています。チトー一味は、共產主義政黨の名を盗用し、社会主義國の旗じるしをかかげ、マルクス・レーニン主義の衣をまとい、各國の革命的人民をあざむき、その闘志を瓦解させ、抑圧されている人民と民族の革命闘争を破壊し、資本主義に墮落したいわゆる「ユーゴスラビアの道」を輸出する方式によって社会主義國を瓦解せるとともに、「非同盟」の仮面をかぶって社会主義國と平和・中立政策をとる國々との團結を破壊しています。チトー一味は、いま、アメリカ帝國主義が反革命的な世界戦略をおしすすめる別動隊であります。まさしくモスクワ声明が指摘しているとおり、チトー一味は「マルクス・レーニン主義を裏切り」、「社会主義陣營と世界共產主義運動にたいし破壊工作をおこない」、「修正主義を裏切り」、「社会主義陣營と世界共產主義運動にたいし破壊工作をおこない」、「す

べての平和を愛する勢力と諸國家の團結を破る活動をくりひろげている」、「ユーゴスラビア修正主義者の指導者を今後とも暴露し、共產主義運動と労働運動をユーゴスラビア修正主義者の反レーニン主義的思想の影響から守るために積極的になたかうことは、依然として各國のマルクス・レーニン主義黨の必要な課題である」のです。

同志のみなさん、われわれ共產主義者にとつて、社会主義陣營の團結の擁護と強化、國際共產主義運動の團結の擁護と強化にいつそう大きな関心をもつことをいまほど必要とするときはまたとありません。團結して敵にあたることは、各國の共產主義者と各國人民の最高の利益であり、各國の共產主義者のなにより大切な任務でもあります。社会主義國相互の關係、マルクス・レーニン主義政黨相互の關係はマルクス・レーニン主義とプロレタリア國際主義の基礎の上にきざされるものです。モスクワ宣言とモスクワ声明は世界各國の共產黨、労働者黨が團結して敵にあたる共同綱領です。この二つの文書は、帝國主義に反対し、世界平和、民主主義、民族解放、社会主義をめざすこの闘いの共同の路線をさだめるとともに、兄弟國、兄弟黨の相互關係の準則をもさだめています。まさしくモスクワ声明が指摘しているとおり、「社会主義陣營ではこの陣營にはいつている國々の真の平等と自主性が保障されている」、「すべてのマルクス・レーニン主義黨は、独立した平等な黨であり、各國の具体的情勢に応じマルクス・レーニン主義の諸原則にし

たがってそれぞれの政策をたてており、しかも互いに支持しあっている」、それぞれのマルクス・レーニン主義政党内「相談によつて見解を統一し、共通の目的をめざすたにかいにおける共同行動を調整してゆく」ようにしなければならぬのです。

国際共産主義運動ぜんたいの経験が証明しているように、兄弟国、兄弟党のあいだにこれの意見の相違が生じるのはさげがたいことです。問題は、兄弟国、兄弟党の相互関係をいかに正しく処理するかということにあります。もしも兄弟国、兄弟党の相互間の独立、平等と、話しあいで見解を一致させるという準則にそむくなら、かならず団結をそこない、意見の相違を大きくするだけであり、ひいては分裂をまねく危険さえあります。

中国共産党は終始一貫して社会主義陣営の団結と国際共産主義運動の団結をまもり、終始一貫してモスクワ宣言とモスクワ声明に規定された兄弟国、兄弟党の相互関係についての準則をまもつてきました。だからこそ、一年あまりまえにひらかれたソ連共産党第二十二回大会がはじめで公然と名ざして他の兄弟党——アルバニア労働党を攻撃したとき、中国共産党代表団は断固たる反対を表明しました。わたしたちは当時、つぎのように指摘しました。このようなりかたは「団結に役立たず、問題の解決に役立たない。兄弟党、兄弟国相互間のあらそいを公然と敵のまえにさらけだすのは、マルクス・レーニン主義の慎重な態度とは考えられない。こうした態度は

味方を痛心させ、敵に快哉をさげさせるだけである。中国共産党は、あらそいや意見の相違をもつ兄弟党がマルクス・レーニン主義の基礎のうえに立ち、たがいに独立と平等を尊重する基礎のうえに立つて、あらたに団結することを心から希望する」と。だが、残念なのは、わたしたちのこの誠意ある勧告も事態の悪化を阻止できなかつたことです。一九六二年四月、中国共産党は、兄弟国、兄弟党の相互関係についての準則をまもり、団結をつよめるといふ願ひにもとづいて、いちぶ兄弟党の、関係緩和と雰囲気改善に関する提案を積極的に支持するとともに、関係ある兄弟党にたいして各国共産党・労働者党代表者会議を開催するという主張を正式に提出し、同志的な討論と話しあいをつうじて意見の相違をなくし、団結をつよめようとなりました。わたしたちはさらに、この会議がひらかれるまで、各党はラジオや新聞、雑誌でたがいに攻撃しあうことをやめ、この会議の開催に有利な条件をつくりだすべきであると指摘しました。

わたしたちはなほだ残念ながらつぎのようなことを指摘せざるをえません。中国共産党とその他のいちぶの兄弟党がはらつたこの努力は関係ある兄弟党の反応をえさず、逆に、兄弟国、兄弟党の相互関係についての準則に反するやりかたがますますはげしくなっています。最近の一時期つづけさまにひらかれたいくつかの兄弟党の大会はともあろうにいちぶの兄弟党をさらにいぢだんと攻撃する場所に利用されてしまいました。これら兄弟党の大会では、いちぶの兄弟党の同

志はひきつづきアルバニア労働党を攻撃するとともに、中国共産党その他の兄弟党を名ざしで攻撃しました。彼らはまた自分の新聞、雑誌その他の宣伝用具をひろく動員して、中国共産党にたいする大規模な攻撃と中傷をくわえました。団結を破壊し、分裂をつくりだすこうしたゆゆしい逆流にたいして、多くの兄弟党が深い懸念と憂慮を表明しているということ、これはまことに正当なことであります。

ゆらい、中国共産党は、国際共産主義運動の団結に有利ないつさいの言論や行動を歓迎しています。わたしたちは、あなた方の党のこのたびの大会で、兄弟党のあいだで公然たる攻撃を停止し、緊張した関係を緩和し、ふんいきを改善しようとする中国共産党の従来からの提案がある程度^の反応をえたことを耳にしました。もしこの表明が行動となるなら、わたしたちは喜びにたえません。共産主義者は言行が一致すべきものと、わたしたちは考えます。一方で攻撃をやめようといひながら、いま一方でひきつづき攻撃をおこなっているのではいけない。このようなやりかたは、意見の相違をとりのぞき、団結をつよめるには役だちません。

〔みんながプロレタリアートの革命事業と敵にたいする闘争の利益に重きを置き、厳格にモスクワ宣言とモスクワ声明の準則にもとづいて、正当なルートをつうじて意見の相違をなくし、団結をつよめるということ、わたしたちはどこでもう一度まごころからこういうことを呼びかけたい

と思います。意見の相違をなくし、団結をつよめるには、やはりモスクワ宣言とモスクワ声明の準則の軌道にもどり、内部で平等に話しあう軌道にもどるべきです。この面では、最初に兄弟党への攻撃をはじめた同志がイニシアチブをとることが問題の解決にとって有益です。中国共産党は、みんながマルクス・レーニン主義とプロレタリア国際主義にしたがい、モスクワ宣言とモスクワ声明の革命的原則にしたがい、兄弟国、兄弟党の相互関係についての準則にしたがつて、同志的な討論と話しあいをつうじることこそ、意見の相違をなくし、団結をつよめる唯一の正しい道である、中国共産党はそう考えています。中国共産党は、ほかならぬこうした立場にもとづいて、たびたび各国共産党・労働者党代表者会議の開催を提案するとともに、他のいちぶの兄弟党の、こうした国際会議を開催しようという提案を支持しています。わたしたちはいまもなお、こうした兄弟党の国際会議を開催することが必要であると考えています。この会議を成功させるには、各国の兄弟党がともに努力して、多くの困難と障害を克服し、兄弟党にたいする攻撃の停止をふくむ多くの必要な準備をととのえることが必要です。

中国共産党はすべてのマルクス・レーニン主義政党とともに、国際共産主義運動の利益のため、敵にたいする共同闘争の利益のため、意見の相違の除去と団結の強化をめざしてひきつづきたゆみない努力をしたいと考えています。国際共産主義運動はいつさいの困難と障害を

克服して、自己の陣列の団結をつよめ、帝国主義反対、世界平和擁護、人類の進歩的事業推進のための闘争で偉大な勝利をおさめることであろう、わたしたちはこのことを確信しています。

同志のみなさん、中国人民は中国共産党と毛沢東同志をはじめとする中央委員会の指導のもと、社会主義建設の事業のなかで、社会主義建設の総路線、大躍進、人民公社という三つの赤旗を高くかかげて闘争をすすめ、すでに偉大な成績をおさめました。いま、わが国の人民は、中国共産党第八期中央委員会第十回総会の呼びかけに熱烈にこたえ、ひきつづき三つの赤旗を高くかかげ、全国人民が心をついに挙国一致、国民経済のあらたな高まりをめざし、社会主義建設の事業のあらたな勝利をめざして元氣いっぱい前進しています。

国際問題については、わたしたちがおしすすめているわが国対外政策の総路線は、プロレタリア国際主義の原則のもとに、ソ連その他各社会主義兄弟国との友好相互援助協力関係を発展させること、五原則の基礎のうえに立って、社会制度の異なる国々との平和共存をかちとり、帝国主義の侵略政策と戦争政策に反対すること、帝国主義と植民地主義に反対する各国の被抑圧人民、被抑圧民族の革命闘争を支援するということです。わが国の人民はひきつづきこの総路線の実施を堅持し、全世界のすべての革命勢力、平和愛好勢力とともに、世界平和、民主主義、民族解放、社会主義の事業の勝利をめざして奮闘するでしょう。

同志のみなさん、中国人民とドイツ民主共和国人民は、社会主義建設のなかで、また帝国主義反対、世界平和擁護の共同闘争のなかで、たがいに支援しあい、深い友情を結んできました。マルクス・レーニン主義とプロレタリア国際主義の基礎のうえにたち、敵にたいする共同闘争の利益の基礎のうえに立って、われわれ両党と両国人民の友情はいちだんと発展し、強固になるでしょう、わたしたちはこのことを確信しています。

われわれ両国人民の兄弟のような友情が日ましにふかまることを望んでやみません。
では、中国共産党中央委員会の祝電を読ませていただきます。

ドイツ社会主義統一党第六回大会への 中国共産党中央委員会の祝電

ドイツ社会主義統一党第六回大会 御中
親愛なる同志のみなさん

中国共産党中央委員会は、中国共産党と中国人民を代表して、ドイツ社会主義統一党第六回大会に、また大会をつうじてドイツ社会主義統一党とドイツ民主共和国人民に、熱烈な兄弟としてのあいさつをおくります。

中国人民は、兄弟であるドイツ民主共和国人民が社会主義建設のなかで、また祖国の統一をめざす闘争のなかでおさめたひとつひとつの成果に喜びを感じており、またあなた方がこんごの建設と闘争のなかでさらにあらたな成果をおさめるであろうと確信しています。

アメリカ帝国主義はいま全世界で侵略政策と戦争政策の遂行に拍車をかけています。アメリカ帝国主義から大いに支持されている西ドイツの軍国主義は、ますます凶にのってドイツ民主共和国にたいする挑発をおこない、ヨーロッパと世界の平和に重大な脅威をあたえています。中

国人民は、ドイツ民主共和国の人民がアメリカの侵略政策と戦争政策に反対し、西ドイツの軍国主義に反対し、ヨーロッパと世界の平和をまもるためにすすめているこの正義の闘争をこれまで同様だんこ支持するものです。

中国人民とドイツ民主共和国人民は、帝国主義に反対し、世界平和を守るこの闘争のなかで、また社会主義建設の事業のなかで、たがいに支持しあっており、この闘争をつうじて兄弟のようなふかい友誼を結びました。中国人民と中国共産党は、マルクス・レーニン主義とプロレタリア国際主義の基礎のうえに立って、われわれ西国人民の団結をつよめ、社会主義陣営の団結をつよめ、国際共産主義運動の団結をつよめるためにひきつづき努力するでしょう。

中国人民とドイツ民主共和国人民のうちやぶることのできない友情万歳！
社会主義陣営の偉大な団結と国際共産主義運動の偉大な団結万歳！

マルクス・レーニン主義万歳！

中国共産党中央委員会

一九六三年一月十二日

63.3.3

モスクワ宣言とモスクワ声明の基礎の上に団結しよう

1963年2月 初版発行

定価 20 円

出版者 外 文 出 版 社

中 華 人 民 共 和 国
北 京 阜 成 門 外 百 万 荘

編号: (日) 3050-516

3-J-544P
00035

